

令和3年度行政評価・外部評価結果について

1. 外部評価の目的

市で行った行政評価（内部評価）の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、第5次総合計画を効果的・効率的に推進し、めざす将来都市像の実現を図る。

2. 評価対象及び実施方法

第5次総合計画基本計画の全38施策を対象とし、河内長野市行財政評価委員会が書面にて評価を行った。

3. 評価方法

市内部で行った施策評価結果を、以下の視点により評価し、各施策を「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

【視点1】 住みよさ指標、10年後のめざす姿に対する達成度

- ・ 施策評価シートの記載内容について妥当性を検討

【視点2】 施策の展開・事業の実施内容の妥当性

- ・ 施策を推進するために取り組んでいる事業が、施策の目的達成につながるものであるか、実施手法は妥当であるかを検討

4. 評価結果

「令和3年度行政評価・外部評価結果一覧」のとおり

令和3年度行政評価・外部評価結果一覧

No	施策	評価区分	意見・コメント
1	危機管理・ 防災対策の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 2 ・ 概ね妥当 3 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハードの整備は進んでいると思うが、ソフトを担う住民自治等の対応、設計、施策の展開に関しては努力を要する。 ・ 横断的に多くの団体と連携していると思うが、高齢者や障がい者など災害時に困難な状況になる方と連携して活動している市民団体とも連携が必要であると思う。 ・ 食料品の備蓄も大切だが、備蓄して終わりではなくローリングするため訓練などと結びつけた仕組みを構築し有効に活用してほしい。 ・ 地域防災リーダーフォローアップ講座はコロナで書面会議となったが、震災の時こそ必要となるので、方法を考えて実施する必要があるのではないかと。 ・ 以前実施していた地域総合防災訓練について、ほかの防災組織との比較や連携が図れるので、規模を縮小してもやってほしい。
2	消防・救 急・救助体 制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 3 ・ 概ね妥当 2 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救命講習の実施に関しては、危機管理課で行なっているAEDボックスの設置や地域防災リーダーへの研修等と相乗効果が出るよう、より明確な連携意識をもって記載がなされていることが望ましい。 ・ 職員の安全の為、より充実を図っていただきたい。 ・ 搬送と緊急対応に適応している。レスキュー等スキルが高い。
3	防犯対策の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 3 ・ 概ね妥当 1 ・ 要検討 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載から判断するに、コロナ禍にあっても、可能な限り計画どおりに事業実施に努められたことがうかがわれる。施策の方向性についても妥当であると思料する。 ・ 防犯カメラへの依存度が高いように思えるが、他に防犯対策の手法はないのだろうか。 ・ 防犯カメラ設置については、各自治会任せである。すべての儀品購入で上限30万と規定されており、各自治会で購入は困難な状況にある。評価がAであるが、防犯カメラ維持についても対応していない。
4	交通安全対 策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 5 ・ 概ね妥当 0 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ よく頑張っていることは理解しているが、行政のすべき施策ばかりが並んでいて住民側や地域が取り組む項目がない。高齢者の運転免許証の自主返納ばかりが、高齢者の交通事故を減らす取り組みではない。子どもに対する啓発は効果があるし、子どもからの注意は大人にも効果がある。 ・ 南大阪地域の特徴として、住宅地開発から時間が経過し高齢化が課題となっている。運転免許証の返納は強制できないので、自主返納を促す取り組みはよいと思う。 ・ ハード面もソフト面も取り組んでいるが、高齢者となれば公共交通機関の利便性が問われる。交通安全ということでは、河内長野市は坂が多いので、ハード的にスピードを出せないような対策があればいいと思う。 ・ 交通安全啓発について、小さい子どもに対する交通安全運動は充実しているが、小学生高学年、中学生、高校生に対する啓発や講習会も必要ではないか。 ・ 少し論点が違うかもしれないが、園児の置き去りが問題となっている。市としても指導など対策をしていただきたい。

No	施策	評価区分	意見・コメント
5	消費生活の安定と向上	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 1 ・概ね妥当 4 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の方向性」は、コロナ禍もある程度収束あるいは”withコロナ”という考えが”定着”してくる中で、今後、どのように消費生活講座受講生数をコロナ禍前の水準に戻していくのか等、もう少し具体的な検討結果が記載されていることが望ましい。 ・近年の状況にあった啓発事業の方法の模索が必要ではないか。 ・相談件数も減少するなど消費生活講座の効果もでていないのでは。E→Dでもよいのでは。
6	地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 3 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員やCSW、社協等、多様な関係者によって、地域福祉の推進に努められていることがうかがわれる。ただ、「前年度評価における方向性」「今後の方向性」の記載にあたっては「包括的な支援体制」の構築を行なううえで何が構造的な課題となっているのか、それをどのように克服していくのか、検討の結果が書かれていることが望ましい。 ・近年の状況にあった啓発事業の方法の模索が必要ではないか。 ・コロナ禍でも行なえる方法で課題に取り組んでいると思う。E→Dでもよいのではないか。 ・社会福祉協議会の地域密着型のサポート、地域民生・福祉委員と連携し、地域福祉活動が継続されている。
7	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載から判断するに、コロナ禍にあっても、可能な限り計画どおりに事業実施に努められたことがうかがわれる。ただし、「今後の方向性」では、関連大綱および条例を実施するうえで何が課題となっているのか、それにどう取り組むのかが記されているとよかつたのではないか。 ・直接的な支援だけでなく、自助を促すような取組も望まれる。 ・社会福祉協議会の地域密着型のサポート、地域民生・福祉委員と連携し、地域福祉活動が継続されている。
8	障がい者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 3 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載から判断するに、コロナ禍にあっても、可能な限り計画どおりに事業実施に努められたことがうかがわれる。ただし、「今後の方向性」では、「複合的な課題」とは何で、それにどう取り組むのかが記されていることが望ましい。 ・手話施策の推進について、体験教室など継続的に開催できる方法を考えていただきたい。
9	社会保障制度の適正な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 3 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあって、相談件数も増加傾向が見られ、一方で必要な現業員体制を整備してきているなど、対応に努めてきたことがうかがわれる記述となっている。 ・生活困窮者への自立支援について、就労支援などもう少し手厚く行なうことが必要では。市内商工業者は人手不足で困っている。

No	施策	評価区分	意見・コメント
10	健康づくりの推進と医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・コロナ禍にあつて、非常に厳しい影響を受けた分野であるが、予定された事業実施に努めてきたことがうかがわれる。ただし、（前年度も書いたが）今後は近隣教育・医療機関等とも連携し、健康づくりに関する、地域コミュニティレベルでの取組をさらに積極的に展開するなど、市民活動との連携開拓が求められるのではないだろうか。</p> <p>・モックル体操に普及・CDによる健康増進、癌検診の受診啓発が出来ている。</p>
11	児童福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・（児童福祉分野のなかで特に児童虐待に関する記述が多い傾向があるが）コロナ禍の厳しい環境にあつて、計画された取組がなされていることが理解できる。また、昨今、状況が厳しさを増しているひとり親家庭とその子どもたちへの言及も見られる。</p> <p>・状況に応じた対応が効果に表れているように思う。</p> <p>・ヤングケアラーの増加はなかなか目に見えない事が多いが、学校などと連携が必要だと思う。</p> <p>・民生・主任児童委員・地域サポーター・社協など地域の見守りが出来ている。</p>
12	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・評価者は、河内長野市は子育て施策が充実しているとのイメージを有しているが、実際にはそのイメージが広がりをもって共有されていないという可能性がある。そのため、施策の中身の充実とともに、対外的な広報の強化が必要ではないだろうか。</p> <p>・10～12は別々の施策だが、関連する点が多いと思える。連携した取組みが必要と思える。</p> <p>・民生・主任児童委員・地域サポーター・社協など地域の見守りが出来ている。</p>
13	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・記述されているとおり、コロナ禍により、全国的に不登校状況にある子どもたちの数が増えている。これについては、簡単なことではないにもかかわらず、市として迅速に対応を検討し、一定程度の具体性をもって方向性が記されており、妥当であると思料する。市民協働や、小中一体化や公民館との複合化の取組についても妥当な記述が行なわれている。</p> <p>・ヤングケアラーの増加はなかなか目に見えない事が多いが、学校などと連携が必要だと思う。</p> <p>・各校区の学校運営協議会と連携、地域社会と学校・子供たちとの関わり、あるべき姿が議論されている。</p>

No	施策	評価区分	意見・コメント
14	青少年の健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・コロナ禍によって大きな影響を受けている分野であるが、迅速な検討と具体的な対応が進められていることがうかがえる記述となっている。なお、青少年健全育成活動については、検討を重ねつつも、なかなか具体性ある方向性が見出せていないという厳しい現状が書き込まれている。たしかに難しい問題であるが、実績ある団体との連携を軸におきつつ、これを、地域住民との連携で補うという構図がよいのではないだろうか。</p> <p>・従来型の施策には限界が感じられる。状況に応じた活動が求められる。「参加数」では測れないのではないかと。</p> <p>・コロナ禍にも関わらず、健全育成会・青少年指導員と共に継続活動が出来ている。</p>
15	生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 1 ・概ね妥当 3 ・要検討 1 	<p>・「今後の方向性」は、コロナ禍もある程度収束あるいは”withコロナ”という考えが”定着”してくる中で、今後、どのように社会教育施設やそのサービスの利用者数を回復させるのか、結局、コロナ禍で下がった利用者数がそのまま定着してしまわないよう、ポストコロナ禍（あるいはwithコロナ）戦略が必要ではないだろうか。</p> <p>・努力が感じられるが、指標が従来型なので、評価が辛くなるように思える。資料をオンラインで公開していることなどをうまく広報することが必要では。</p>
16	歴史文化遺産の保存・活用及び文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 2 ・要検討 1 	<p>・評価者は（市外在住者であるが）南大阪で文化遺産といえば河内長野というイメージがあり、対外的な広報が活発であるとの印象をもっている。また、市内における児童・生徒への学習機会の提供についても強化する方向性をもっておられ、そうしたバランスにも優れていると思料する。</p> <p>・努力は感じられる。現在の状況に応じた展開の模索が必要かもしれない。</p> <p>・日本遺産スタンプラリーなど市民・観光客へのPR活動が出来ている。</p>
17	生涯スポーツ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 1 ・要検討 1 	<p>・コロナ禍ではあるが、さまざまな工夫を凝らしてスポーツ機会の提供を継続しておられ、また今後の方向性も丁寧に書き込みがなされていると思料する。</p> <p>・指標が「利用者」数なので、現況においては辛い評価になる。施設を利用しなくてもスポーツが促進されるような施策がないだろうか。</p> <p>・市民スポーツ大会・各連盟団体を含めスポーツへの振興普及活動が出来ている。</p>
18	人権と平和の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 3 ・要検討 0 	<p>・コロナ禍ではあるが、ICTを活用して参加者数を確保するなど、適切な努力がなされていると思料する。（なお、市民満足度を見るとかなり低めである。引き続き、事業をしっかりと継続していく必要がある）</p> <p>・人権啓発事業等への参加者は、職員研修を除くとそう多くないのではないかと。指標に対する評価としては概ね妥当といえるが、多様化する人権意識に対応した、今の人たちが関心をもてる施策が必要では。</p>

No	施策	評価区分	意見・コメント
19	男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 1 ・概ね妥当 4 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価としてはBであり悪くないが、市民満足度を見るとかなり低めである。そのため、今後もこれまで同様、あるいはそれ以上に取組を継続・強化していくべきである。また、指標の設定としては、ほかの施策同様、アウトプットレベル（関連講座への参加者数等）も含めることができないか、検討すべきと考える。 ・指標と目標のズレを感じる。近年の状況を踏まえれば、女性を対象とした施策だけでなく、男性の家事参加を促すような、男性対象の施策も必要ではないか。
20	多文化共生と国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 3 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度も記したと思うが、国際化・多文化共生ビジョンでも取組の軸とされたKIFAの会員数、関連イベント参加者数の減少傾向は、コロナ禍前から観察されることである。それがどのような要因にもとづくものなのかを検討し、その結果がどのようなものであったのかが分かる記載を行なうことが望ましい。 ・辛い評価になっているが、近年の状況を考えれば仕方ないと思える。 ・国際交流センターを含め、外国人労働者と交流が来ている。
21	自然環境の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的高い市民満足度を獲得できており、適切な取組がなされていることがうかがえる。（なお、（SDGsは環境だけに特化した目標ではないが）認知度の高いSDGsを有効に活用し、市民個人による行動変容、さらには集会的な運動として取組が展開できやすい課題でもあることを踏まえ、さらなる取組が期待する） ・「満足度」が指標になっているが、何に満足を感じるかがわからず、判断に迷う。 ・公園河川課・公園管理協会を中心に適切な設備が来ている。
22	循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・（施策番号21と同様）比較的高い市民満足度を獲得できており、適切な取組がなされていることがうかがえる。（なお、（SDGsは環境だけに特化した目標ではないが）認知度の高いSDGsを有効に活用し、市民個人による行動変容、さらには集会的な運動として取組が展開できやすい課題でもあることを踏まえ、さらなる取組が期待する） ・ふれあい収集の実施については、世帯の孤立を防ぐ面でも重要であるので、近隣での見守り（実施）が最も有効だと思う。 ・分別ゴミ・リサイクル資源の活用が来ている。
23	快適な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの指標も達成されており、適切に取組が行われていると思料される。

No	施策	評価区分	意見・コメント
24	魅力的な景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 3 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は低くなされているが、コロナ禍であってもさまざまな取組がなされており、妥当であると思料する。 ・景観に関する施策とは思えないものもあり、整理が必要ではないか。景観資源は豊富な市であるので、観光などと協力して進めると良いように思う。 ・コロナ禍ではあるが、景観ワークショップを開催したり広く広報している。E→CかDでもよいのではないかと。
25	市街地整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は低くなされているが、「コノミヤテラス」の運営、新しい公共交通手段に関する実験等、ユニークな取組が展開されており、また、広報上もYouTubeの活用を含めて、妥当なものであると思料される。 ・単年度では評価できない内容のものであり、評価自体難しい。
26	住宅環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の取得は、高度経済成長期とは異なり、大きく多様化しており、これを踏まえて取り組まれている。たとえば、親族との近居（「孫ターン」等）の促進などがそれに該当する。（なお、住宅耐震化は、他市においても95%を達成しようとする取組がなされているが、多くの地域で頭打ち状態にあり、このあたりで別の取組ができないのか、検討が必要ではないか） ・評価はCぐらいでも良いのではないかと。 ・建築協定を含め、良く美観整備ができています。
27	公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組や今後の方向性についてもとくに問題は特定されず、適切であると思料される。（なお、他市においては、公園整備に関して市行政がワークショップを開催し、積極的に住民参加を求め、計画策定を行なうなどの取組が見られる。河内長野市においてももう一段難易度の高い住民参加にトライしてみてもよいのではないかと） ・公園河川課・公園協会を含め、美観形成ができています。
28	道路基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な方向性、具体的な取組の内容としては、ハード・ソフト両面を踏まえたバランスあるものであり、適切なものと思料する。 ・都市まちづくり部・道路課を中心に道路整備が出来ている。
29	公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの歴史や形状から、河内長野市は公共交通の維持が現在非常に重要になってきているわけだが、それを踏まえて、多様な取組を行なわれており、また、その取組のなかには非常にユニークで先進性を有するものもあると理解している。その意味で、当該施策は妥当なものである。今後は、そうした取組を進めつつ、細かく利用者のニーズとの齟齬を確認し、それに対応しながら満足度を上げていくことが重要であろう。 ・コロナの影響もあり、値の分析は難しいが、地域の状況に応じた公共交通のあり方を考えることが必要。有効な試みがなされているように思える。 ・南海電鉄・ここあ・きよまる・くすまるなど公共交通、市民ボランティアと連携、高齢者・市民交通網が出来ている

No	施策	評価区分	意見・コメント
30	上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 4 ・概ね妥当 1 ・要検討 0 	<p>・施策の基本的方向性や具体的な取組については、河内長野市の開発時期や現状、予想される自然災害リスクを踏まえて、とくに問題であるところは見当たらず、適切なものと考えられる。（ただ、関連指標を見ただけでは会計上どのような状態にあるのかはよく分からなかった）</p>
31	商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 3 ・要検討 0 	<p>・施策の基本的方向性や具体的な取組は、コロナ禍によるインパクトをどのくらい正確に把握され、これに対応されているのかがよく伝わってこなかった。しかし、指標の設定やモニタリングについては、他市に比較して、入念・丁寧であり、適切である。（ただ、特産品の開発については、さらに関係アクターとの連携を広げる余地があるようにも観察している）</p> <p>・指標を見れば良い評価になるが、実際の事業者に実感が持たれているかどうかは大事と思える。</p> <p>・河内長野市駅前にある商店街について、空きスペース（閉めている店）が多く、河内長野全体がさびれた感じとなっている。改善を望みます。</p>
32	農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・農業従事者の高齢化や減少、一方、災害予防の可能性に鑑み、現在の施策や将来の方向性は妥当なものと思われる。ただ、昨年度も記したが、今後は、さらに地域のNPOとの連携を進め、学校教育・社会教育におけるESDの推進についてさらに努力を積み重ねられることを期待する。</p> <p>・Bでもいいように思える。新たな担い手の発掘など、次の時代への準備が必要ではないか。</p>
33	観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・コロナ禍で、国内外からの旅行客が期待できない時期が続いた。それにもかかわらず、関係者が連携して、さまざまな努力を続け、実際に観光客数増加につなげておられ、取組は適切なものである。実際、発信に努めているからか、評価者から見ると、河内長野市は文化遺産等が豊かにあるまちというブランドが浸透しつつあるように思われる。</p> <p>・ボランティア数の評価は「→」でいいのではないか。状況に応じた新たな「観光」の提案も必要ではないか。指標の検討が必要と思える。</p> <p>・くろまろの賑わい、道の駅紙でのPR、中世のまちPR、スタンラリーなど様々な活動が出来ている。</p>
34	雇用の確保と就労・労働環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 2 ・概ね妥当 2 ・要検討 1 	<p>・施策の方向性、それを実現する取組の内容としては、基本的に適切なものであると思料する。ただし、取組は（コロナ禍のなか、相談が増えているという事情もあるであろうが）「就労」支援にフォーカスがなされている印象をもった。現在、仕事があるだけでなく、その質も同時に問われているので、「労働環境」の改善についての取組がどのくらい有効なのか、記載は充実されることが望ましい。</p> <p>・指標を見ると、Cで妥当と思えるが、施策においてはあまり具体的な感じがしない。時代にあった取り組みが必要かもしれない。</p>

No	施策	評価区分	意見・コメント
35	都市ブランドの構築と魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 1 ・概ね妥当 4 ・要検討 0 	<p>・評価が難しい。魅力発信はあるものを掘り起こして発信するもので、ブランド構築とは軸が違う。都市ブランドの構築には、中長期的な取り組みが必要で、最低でも5年、長い目で見れば10年という単位の仕事だと思う。</p> <p>・まち・ひと・しごと創成総合戦略の関係で、他市でも婚活イベントを実施しているが、成果をどのように考えればよいのか難しい。</p> <p>・包括的施策は別立てになっていて、広報紙の発行から婚活イベントまで幅が広いので、評価は非常に難しい。地域を活かした婚活イベントなら広報材料になるのでうまく活かせる仕組みができればよい。</p> <p>・広報紙は分かりやすい内容で、難しい予算なども一般の方が見ても理解しやすく書いている。魅力の発信では、市民で発信していただいている方との連携をしていけば、もっと広く発信できるのではないかな。</p> <p>・広報誌は他市と比較しても引けを取らないが、今の目次はどこに何が書いているのか分からないので、目次ページを作ってほしい。婚活イベントは農業や林業などに従事している方を対象にしても面白いと思うので継続していただきたい。</p>
36	協働の推進と地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 1 ・要検討 1 	<p>・丁寧に記載がなされている。ただし、評価者自身が河内長野市の関連委員会の委員であり、当該委員会で委員から指摘されていた論点（たとえば、（自治会活動のデジタル化のみならず）市民団体一般によるICT活用支援の強化、ボランティア団体・市民公益活動団体数のカウント方法の改善）について記載がない。更新が必要ではないだろうか。</p> <p>・今の住民にとって活動しやすい形を考えることが必要と思える。</p> <p>・自治協働メンバーを中心に地域連携が出来ている。</p>
37	効果的・効率的な行政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 2 ・要検討 0 	<p>・評価者は、他市においても行財政評価を行う機会があるが、河内長野市は非常に丁寧に細かく評価が行なわれていると考える。ただし、前年度評価における方向性と今後の方向性の表記がほぼ同じ箇所があり、今後、何が進められるのかが必ずしも明確ではない。</p> <p>・市職員の適切な行政運営が出来ている。</p>
38	健全な財政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当 3 ・概ね妥当 1 ・要検討 1 	<p>・基本的な方向性、それを実現する取組の内容としては、とくに不適切なところは見いだせなかった。</p> <p>・参考値だが、市民満足度の低下は、市の努力があまり市民に知られていないせいかもしれない。発信（広報）も必要ではないか。</p> <p>・企業誘致の遅れ、地元企業の流出、財政出動の選択と集中が出来ていない。今後市運営にむけ、市民に不安が広がりつつある。</p>